

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成27年5月8日
【事業年度】	第21期（自平成26年1月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	ケンコーコム株式会社
【英訳名】	Kenko.com, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 橘田 尚彦
【本店の所在の場所】	福岡市中央区天神一丁目15番6号
【電話番号】	092-737-0824（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部経理部長 石川 愉基
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区天神一丁目15番6号
【電話番号】	092-737-0824（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部経理部長 石川 愉基
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年3月26日に提出いたしました第21期（自平成26年1月1日至平成26年12月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 業績等の概要

(1) 業績

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1) 業績

(訂正前)

(省略)

「リテール事業」

・ケンコーコム事業

リテール事業のうちケンコーコム事業では、主にインターネット上の当社ECサイトを通じて、健康関連商品を一般消費者向けに販売しております。

平成26年12月末現在の取扱商品数は、商品構成の見直しにより前連結会計年度期末比3.2%減の17万9,984点(Kenko.com Singapore Pte. Ltd.取扱商品を除く)となりましたが、当社の強みである健康食品及び医薬品の構成比は上昇いたしました。

国内の当事業については、消費税増税による影響や夏季の天候不順による受注の伸び悩み等から、売上高は厳しい状況で推移いたしました。損益面においては、利益率の改善を図ったものの、配送費の値上げ等による一般管理費の増加や売上高の減少に伴う利益額の減少により、利益幅は計画に対して減少しました。

海外の当事業については、中国及びシンガポールの居住者向けEコマースが好調に推移しました。

以上の結果、当連結会計年度におけるケンコーコム事業の売上高は15,960百万円となり、セグメント利益は74百万円となりました。

・楽天24事業

リテール事業のうち楽天24事業では、「楽天市場」モール内における店舗「楽天24」にて日用品等を一般消費者向けに販売しております。

日用品等の売れ筋に特化したEDLP(Every Day Low Price)の店舗として、「楽天市場」の集客力と、当社の物流及び顧客サービスのノウハウを活用した新たな成長ドライバーとして、売上の加速と収益改善に取り組んでまいりました。第3四半期以降、サイトリニューアルや、オペレーションシステムの統合及び在庫統合が完了したことにより、売上成長の加速化と収益性の改善が両立してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における楽天24事業の売上高は3,013百万円となり、セグメント損失は261百万円となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

「リテール事業」

・ケンコーコム事業

リテール事業のうちケンコーコム事業では、主にインターネット上の当社ECサイトを通じて、健康関連商品を一般消費者向けに販売しております。

平成26年12月末現在の取扱商品数は、商品構成の見直しにより前連結会計年度期末比3.2%減の17万9,984点(Kenko.com Singapore Pte. Ltd.取扱商品を除く)となりましたが、当社の強みである健康食品及び医薬品の構成比は上昇いたしました。

国内の当事業については、消費税増税による影響や夏季の天候不順による受注の伸び悩み等から、売上高は厳しい状況で推移いたしました。損益面においては、利益率の改善を図ったものの、配送費の値上げ等による一般管理費の増加や売上高の減少に伴う利益額の減少により、利益幅は計画に対して減少しました。

海外の当事業については、中国及びシンガポールの居住者向けEコマースが好調に推移しました。

以上の結果、当連結会計年度におけるケンコーコム事業の売上高は15,960百万円となり、セグメント利益は174百万円となりました。

・楽天24事業

リテール事業のうち楽天24事業では、「楽天市場」モール内における店舗「楽天24」にて日用品等を一般消費者向けに販売しております。

日用品等の売れ筋に特化したEDLP(Every Day Low Price)の店舗として、「楽天市場」の集客力と、当社の物流及び顧客サービスのノウハウを活用した新たな成長ドライバーとして、売上の加速と収益改善に取り組んでまいりました。第3四半期以降、サイトリニューアルや、オペレーションシステムの統合及び在庫統合が完了したことにより、売上成長の加速化と収益性の改善が両立してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における楽天24事業の売上高は3,013百万円となり、セグメント損失は260百万円となりました。

(省略)

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日)

(訂正前)

	報告セグメント					
	リテール		ドロップ シップ	メディア	ドラッグ・ ラグ是正支援	計
	ケンコーコム	楽天24				
売上高						
外部顧客への売上高	15,960,762	3,013,670	1,370,707	134,855	332,146	20,812,142
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-
計	15,960,762	3,013,670	1,370,707	134,855	332,146	20,812,142
セグメント利益又は 損失()	74,757	261,693	102,462	45,799	2,913	41,587
セグメント資産	3,296,620	1,005,413	280,265	31,746	81,706	4,695,752
その他の項目						
減価償却費	128,024	30,012	11,154	879	-	170,070
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	215,899	167,621	19,378	524	-	403,425

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	8,128	20,820,270	-	20,820,270
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	40,330	40,330	40,330	-
計	48,458	20,860,600	40,330	20,820,270
セグメント利益又は 損失()	3,831	<u>37,755</u>	<u>272,529</u>	310,285
セグメント資産	15,639	4,711,391	781,569	5,492,961
その他の項目				
減価償却費	-	170,070	316	170,387
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	-	403,425	507	403,932

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業等を含んでおりません。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失()の調整額 272,529千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 272,529千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額781,569千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産781,569千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

3. セグメント利益又は損失()は、連結財務諸表の営業利益又は損失()と調整を行っております。

(訂正後)

	報告セグメント					
	リテール		ドロップ シップ	メディア	ドラッグ・ ラグ是正支援	計
	ケンコーコム	楽天24				
売上高						
外部顧客への売上高	15,960,762	3,013,670	1,370,707	134,855	332,146	20,812,142
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-
計	15,960,762	3,013,670	1,370,707	134,855	332,146	20,812,142
セグメント利益又は 損失()	174,635	260,084	104,249	60,654	2,913	76,540
セグメント資産	3,296,620	1,005,413	280,265	31,746	81,706	4,695,752
その他の項目						
減価償却費	128,024	30,012	11,154	879	-	170,070
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	215,899	167,621	19,378	524	-	403,425

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	8,128	20,820,270	-	20,820,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	40,330	40,330	40,330	-
計	48,458	20,860,600	40,330	20,820,270
セグメント利益又は損失()	3,831	80,372	390,658	310,285
セグメント資産	15,639	4,711,391	781,569	5,492,961
その他の項目				
減価償却費	-	170,070	316	170,387
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	-	403,425	507	403,932

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業等を含んでおりません。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失()の調整額 390,658千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 390,658千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額781,569千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産781,569千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

3. セグメント利益又は損失()は、連結財務諸表の営業利益又は損失()と調整を行っております。